



北海道静内高等学校 学校便り

渺々万里

第163号

北海道静内高等学校

〒056-0023

日高郡新ひだか町

静内ときわ町 1-1-1

TEL 0146-42-1075

「小さな一歩」が、人生を動かす

校長 大木 康弘

渺々万里第158号で、学校と保護者の皆様、そして地域の皆様が手を携えながら、生徒たちが「人生を舵取りする力」を身につけていくための手助けをしましょう、と呼びかけました。今回は、そんな願いを込めて、全校集会で生徒たちにお話ししていることを少し紹介したいと思います。

夏休み前には、「ミニマル主義」という考え方を取り上げました。自分にとって何が必要なのか、何を大切にしたいのかを、自分自身の基準で考え、選んでいく生き方です。物だけではなく、これまでの経験や人との関わり、さまざまな感情についても、「自分にとって大切なものは何だろう」と考えるきっかけにしたいと伝えました。

そして夏休み明けには、「挑戦すること」について話しました。「自分を変えなければ」と思って、今の自分を否定する必要はありません。大きなことを始めなくても大丈夫です。「ちょっとやってみようかな」と思ったことに、一歩踏み出してみる。うまくいかなかったとしても、「やってみた」という経験そのものを大切にしたいと伝えました。

自分にとって大切なものを見つけ、自分で選び、まず一歩踏み出してみる。その小さな一歩が、少しずつ自分の世界を広げ、やがて自分の人生を自分で舵取りしていく力につながっていくのだと思います。

学校・家庭・地域がそれぞれの立場から生徒たちを見守りながら、一人ひとりの「小さな一歩」を一緒に応援していければと思います。

生徒会選挙

生徒会部長 横堀 晃

9月8日(火)の6時間目に生徒会役員選挙および立会演説会を実施しました。立候補者は今後の学校生活をより良いものにするために実現したい公約を、応援演説者は立候補者の人柄や職務を遂行するために必要な資質をそれぞれステージでアピールしました。明日の静内高校をよりよくすることが出来る候補かどうかを見極めるため、生徒たちは真剣に耳を傾け、スピーチが終わるたびに拍手が会場に起こりました。今回立候補した8人は全員信任され、書記長、厚生委員長、体育委員長、交通安全委員長、文化委員長は立候補者不在により、今後、新生徒会長が推薦し評議委員会を経て後日認証される見込みです。後期より一年間、

静内高校の今まで培った伝統を土台として、新たな視点と斬新な発想でよりよい学校生活を送るための活動や、学校行事の企画や運営に尽力する執行部の動きを期待しています。

球技大会

生徒会部長 横堀 晃

9月10日(木)、11日(金)に球技大会が行われました。天候にも恵まれ、前日には生徒会執行部の生徒を中心に体育委員や運営委員、部活動生徒の協力を得ながら、サッカーゴールの移動や本部テント設営など、競技の運営が円滑に進められるよう準備がすすめられました。1日目は、暖かい日差しの中で開会式が行われました。有志により選ばれた3年生3人が高校生活最後の球技大会に向けた思いを胸に、ユーモアを交えてさわやかな選手宣誓を行いました。最初の競技としてクラス全員による玉入れが実施され、その後はバレーボール、サッカー、ソフトボールなどに分かれ競技が始まり、それぞれ白熱した試合が展開されました。生徒は自分たちの出る競技の合間にクラスの応援や競技運営の手伝いと、休む間もなく校舎内外を元気に動き回り、今年度最後の大きなクラス対抗の行事を楽しんでいました。

2日目は、予選の結果をもとに決勝トーナメントが行われました。最近では1年生が優勝する競技もあり、上級学年が必ずしも勝ち上がるとは限らないため、最後まで総合優勝は分からず、それぞれのクラスが優勝に向けて、また少しでも順位を上げるためにより一層プレーや応援にも力が入り熱戦が繰り広げられました。決勝戦前にはシークレット競技として教員と生徒有志によるエキシビジョンマッチも行われ、生徒だけでなく、学校全体でスポーツを楽しむ日となりました。3年生にとっては、最後の大きな行事ですし、この行事をもって旧生徒会執行部が取り仕切る行事がすべて終わります。それぞれが、行事を通じて学校を盛り上げ、静内高校の伝統とよい校風に貢献する一助となったと思います。

なお各競技の一位のクラスは以下の通りです。

男子ソフトボール	2年1組
女子ソフトボール	3年1組
男子サッカー	2年1組
女子バレー	3年4組
玉入れ	3年1組



1 日防災学校

防災委員会 山本 洋介

8月27日(木)に非常時・災害時に自分自身や大切な人の命を守るための「防災」について考える「1日防災学校」を実施しました。防災講話では東日本大震災を経験された方のお話を聞き、「自然災害とどう向き合い、災害時にどのように命を守るか」や、「与えられている命を大切に、未来に向かうことの大切さ」について考えを深めました。

その後、地震からの大津波警報発令による垂直避難訓練を実施したほか、年次ごとに、災害時の救助体験や心肺蘇生法講習、煙部屋脱出体験や避難所設営体験・非常食体験、避難所運営を疑似体験するゲーム「Do-はぐ」等のプログラムを実施。自助と共助について学び、充実した1日となりました。

ご協力いただいた、陸上自衛隊静内駐屯地、日高中部消防組合、日高振興局、新ひだか町役場のみなさまに感謝申し上げます。ありがとうございました。



学校説明会

総務部長 大森 裕介

9月9日(水)に学校説明会が行われ、中学校8校、中学生235名・引率教員15名・保護者42名が参加しました。過去5年間は年2回の実施でしたが、今年度はコロナ前に戻して1回の実施となりました。

オリエンテーションでは情報ガイダンス部長の加納先生より本校の単位制の特色や高校入学後のカリキュラム選択など、SCRUM推進委員会の末武先生より静高タイム導入の趣旨や実施内容など、進路指導部長の秋保先生より本校の進路学習や卒業後の進路状況などの説明がありました。また、生徒会長の結城君による生徒会行事や部局活動の説明、2年次の生徒によるPRスピーチも行われました。

6時間目には中学生は静高タイムの様子や施設の見学、放課後には部活動体験・見学が行われました。中学生は本校の特色や様子を知る機会となり、来年4月には一人でも多くの中学生が静内高校を入学することを強く期待しています。



令和8年度 教育実習について

教育実習担当 成田 亮花

9月7日(月)から、本校にて瀧瀬 夏壺先生(保健体育科)と野村 圭悟先生(数学科)、増谷 和哉先生(英語科)の教育実習が行われました。この期間には球技大会や生徒会選挙の立ち会い演説会などがありまし

た。配属されたクラスの生徒と球技大会に向けての練習をしたり、試合結果を共に喜んだりする姿が見られました。また、部活動をはじめとした放課後活動にも積極的に参加していました。

そして、17日(木)に野村先生、24日(木)に増谷先生、30日(水)に瀧瀬先生の研究授業が行われました。生徒たちも3人の授業に積極的に参加し、意見を出し合う様子が見られました。

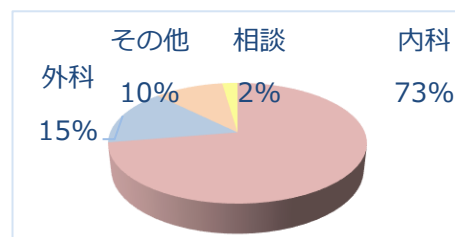
教育実習は終わってしましますが、静高での経験を活かしてこの先もさらに活躍してくれることを願っています。



保健室利用について

養護教諭 中島 佑菜

9月15日までの今年度の保健室を利用した生徒の人数は528人(延べ人数)で、1日平均利用者数は5.3人です。来室理由としては内科的症状が約70%と多く、その内訳は多い順に頭痛(29.2%)、腹痛(13.7%)、気持ち悪い・吐き気(12.6%)となっています。外科的症状は切り傷(18.2%)、擦過傷(16.9%)、筋腱痛(11.7%)の順に多く、体育行事のある7月、9月に多い傾向です。特に、7月は文化祭の準備などの疲れからか体調不良で来室する生徒が多かったです。また、9月も朝晩の冷え込みにより風邪症状を訴えて来室する生徒が多い状況です。これからさらに冷え込みが厳しくなる季節になってきます。各ご家庭でも体調管理にご留意ください。



10月の主な行事

1日(木)	開校記念日
2日(金)	後期始業式 身だしなみ指導
8日(木)	芸術鑑賞
19日(月)～ 28日(水)	授業公開週間
29日(木)～ 11月1日(日)	見学旅行(2年次)